



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

プロバスだより

第287号

2019年10月10日

2019～20年度 テーマ

素敵に輝いて 素敵なクラブライフを！

編集・発行：情報委員会

臨時総会・例会

日 時：令和元年 9 月 12 日（木）12:30～14:30

場 所：八王子エルシィ

出席者：51 名 出席率 83 %

（会員総数 61 名 休会 2 名 欠席 7 名）

会食と臨時総会・定例会

齊藤例会委員長から会議等の進行について説明があり、会食に引き続き臨時総会・定例会が開催された。

なお、今回より会食中に BGM を流すことにした。

臨時総会

1. 開 会 齊藤例会委員長
只今より臨時総会を開催します。（資料確認）

2. 会 長 挨拶 飯田 会 長

3. 議長選任
恒例により飯田会長が議長席につき、会員総数・出席者数を確認の上議事に入った。

4. 書記・議事録署名人の選任
議長より、書記に池田ときえ会員、議事録署名人に荻島靖久会員、岡本宝蔵会員が選任された。

5. 議 事
提出された議案「全日本プロバス協議会第 10 回総会（2022 年）ホストクラブ就任の件」が諮られ、一瀬幹事から以下の説明があった。
過日、全日本プロバス協議会会長より第 10 回総会（2022 年）を八王子プロバスクラブで開催して欲

しい旨の要請があり、理事会での検討・内諾後総会に諮ることし、8 月の定例会で趣旨説明をおこない、本日の臨時総会の運びとなった。

<提案>

八王子プロバスクラブの受け入れ体制を明確にし、費用面も適確に把握する 2 点を前提にホストクラブ就任を受諾する。

全日本プロバス協議会総会を主催することによって、当クラブの節目となる創立 25 周年の「周年行事」の一つと位置付け、さらなる発展のためのチャンスと捉えると共に、プロバス活動の意義を八王子から全国に発信するべく視点を広げる機会にしたい。

受け入れ体制は過去の事例を参考に来年をめぐりに準備することとし、予算的には全日本からの開催経費 10 万円と参加者負担の枠内でやっていくことを基本としたい。

以上の提案説明があり、質疑等の発言もなく全会一致で可決された。

6. 議長解任

7. 閉 会

第 287 回 例会

1. 開 会 齊藤例会委員長
第 287 回例会開催を告げ、配布資料の確認。

2. 会 長 挨拶 飯田 会 長

只今、臨時総会におきまして「全日本プロバスクラブ協議会第 10 回総会ホストクラブ就任」の件が承認されました。ありがとうございました。

皆さん、改めて残暑お見舞い申し上げます。台風一過残



暑厳しい日が続いています。皆様におかれましては体調を崩すことなく今日の例会へのご参加、大変うれしく思います。今日の例会の配席は自由席ということで、いかがでしょうか。たまには気分転換にもなり、よかったのではないのでしょうか。

今日は1か月遅れではありますが、8月6日の第74回広島平和記念式典のことについて一言申し上げたいと思います。

今年、広島市の松井市長が平和宣言の中に、当時5歳の少女で広島に住んでいて被爆した女性の短歌を引用されたことが、その後大きな話題になりました。その作者こそが今は東京在住の私の大学時代の友人村山季実子さんであったことを知り、驚きとうれしさに強い感動を覚えました。

「おかっぱの頭（づ）から流るる血しぶきに
妹抱（いだ）きて母は阿修羅に」

友人の村山さんは「少ない言葉でも短歌には人に訴えるものがあると確信しています。原爆の悲惨さを世界に知ってもらいたいのです」と話されていました。

平和の大切さを訴えるお話として紹介させていただきました。

3. ハッピーコイン披露

田中副会長からハッピーコイン 16 件の披露があった。（4～5 ページに掲載）

4. バースデーカード贈呈

飯田会長より、恒例の池田会員手作りのバースデーカードが9月生まれの会員に贈られました。



写真 左から吉田、野口、馬場、小林、岡部、岡田、（会長）の各会員。（敬称略）

5. 卓 話

「ブータン王国」紀行

鈴木 均 会員



今年の2月、ブータン王国ツアーに誘われた。日本GNH（国民総幸福）学会が企画した「GNH発祥の地」を訪ねる旅である。「世界一幸福な国」と言われるブータン王国の有り様を見極めるべく14名のメンバーは、タイ経由でブータンの空の玄関口であるパロ国際空港に向かった。

日本とブータン王国は1986年3月、外交関係樹立に関する書簡を交わし、今年で34年目に入る。外交樹立25周年にあたる2011年には今の第5代国王ご夫妻を国賓としてお招きし、今年は秋篠宮ご夫妻とご長男悠仁さまがブータン王国をご訪問する等、皇室外交による友好な関係が継続されている。

ブータン王国は大ヒマラヤ山脈の南西山麓に位置する内陸国であり国境は中国とインドの2大国に接している。中国（チベット）との国境の大部分はヒマラヤ山脈の上を走っているため、国境が確定していない部分が多く、今でも「国境画定交渉」が継続されている。

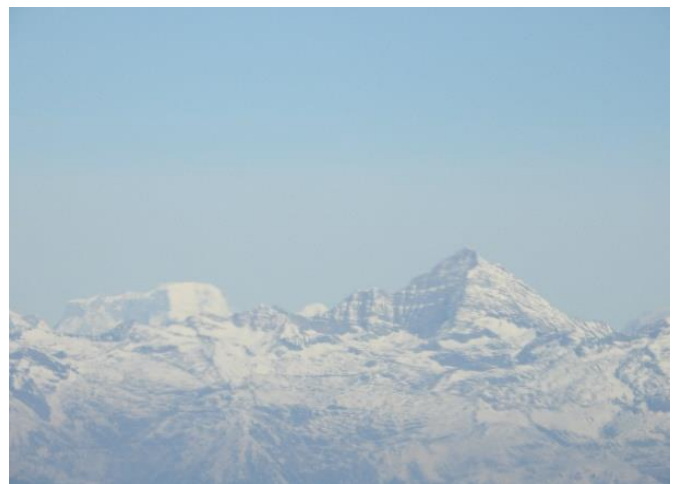


写真 ヒマラヤの女神「チョモラリ」7,320m

ブータンの国土は南部（インド側）の標高100mから北部の標高7,600mに到る標高差の大きいのが特徴。このため気候も「亜熱帯性気候」・「モンスーン気候」・「高山・ツンドラ気候」の三つに大別される。

イメージとして、沖縄県と同じ緯度に九州と同じ面積の中に、標高100mから7,600mの起伏に富んだ地形の中で、農業を主体に75万人程の人々が多

民族文化を経世しながら、立憲君主制のなかでインドの支援を受け、穏やかに暮らしている。



写真 ティンプーの「タシチョ・ゾン」
政治・司法・僧院機能の拠点

学校の教育は英語を核として取り組んでいるが高齢者はチベット語系のゾンカ語しか話せない人が多数。主たる産業は、地形を生かした水力発電であり、インドへ電力輸出を行い、観光事業と共に外貨収入を支えている。

首都ティンプー（人口約 10 万人）には、日本の国際協力機構（JICA）の事務所が置かれ、インドにある日本大使館の連絡窓口の機能を果たしている。これまで多くの支援事業（農業開発支援・電話、放送網整備事業・国道の橋架け替え事業）に取り組み、日本はブータンから大きな信用を得ている。

1964 年に国交がなかったブータンに農業の専門



写真 世界 10 大聖地の一つ「タクツァン僧院」

家として派遣された西岡京治さんは、1992 年に現地ですでに亡くなるまで農業の機械化や新しい作物の導入・米の品種改良等で農業開発に尽力、官民から絶大な

信頼を得て、外国人として初めて「ダシヨー（最高の人）・西岡」という爵位を国王から授与された。日本に対する好感度は増している。

衣食住が保障され、仏教の教えに真摯なブータン人は「俺たちは幸せだ」と胸を張るが、一方で国外の情報をスマホで入手する若者の意識の変化は、これからのブータンに何をもたらすかが気になる旅であった。

6. 幹事報告

一瀬幹事

先ほどの臨時総会で 2022 年の全国プロバス協議会総会を八王子で開催することをご承認いただきましたので、本部に連絡の手続きを行います。

有泉副幹事が体調を崩されておりますので当面私が兼務いたします。先月のコーヒー提供は目安のほぼ 30 杯をお飲みいただきました。その数だけ例会前の歓談の輪が広がることを期待いたします。

7. 各委員会活動報告

(1) 例会委員会

齊藤委員長

出席人数、席をランダムにすることを確認した。

(2) 情報委員会

河合委員長

① プロバスだより第 286 号をお配りしてあります。今月号は内山副委員長の編集担当でした。6 頁建てでコンパクトにまとまったと思います。

原稿をお寄せ頂いた方々にお礼申し上げます。

② ホームページの 8 月中のアクセス回数は 292 回でした。内容が一新されていますので、皆さんも一度アクセスされて、ご意見を頂きたいと思います。

③ 引き続きプロバスだよりへの寄稿をお願いします。

(3) 会員委員会

寺田委員長

報告事項なし。

(4) 研修委員会

山口委員長

① 11 月に実施する野外研修の参加費を徴収させて頂いています。本日現在 30 名の参加を受け付けましたが更なる参加者が必要です。是非とも前向きにご検討下さい。

② 10 月例会の卓話は土井俊玄会員による「唯識から学ぶ人間の心」を予定しています。

(5) 地域奉仕委員会

武田委員長

第 24 回生涯学習サロンの企画についてサロンカリキュラムの大筋が決まりました。

またサロン運営について検討した結果、従来「閉講式・さよならパーティー」を別建ての日程で行っていましたが、これを取り止めてサロン第3週終了後、引き続き「閉講式・交流会」を設定することにしました。理由は「閉講式・さよならパーティー」への一般会員の参加率が低いことによります。また、受付業務などの会員負担を少なくする事です。ご理解宜しく願いいたします。

(6) 交流担当

田中担当理事

プロバスだよりを交換している他クラブの会報等を例会中回覧しています。今月はその中に、全日本の事務局が発行する機関誌の第2号があります。その機関紙の中に杉山会員の一文が掲載されています。ご一読ください。

(7) 宇宙の学校

下山PJリーダー

9月に入り2学期の「宇宙の学校」が始まっています。8日に八王子学園がスタートでした。中学生のボランティアを主体とした運営のため、午前中の事前研修に経験豊かなプロバスクラブのスタッフが研修の手伝いをし、良いスクーリングができました。

台風15号も一時的に降り込みがありましたが、来襲前には終了しました。いよいよ秋の部が忙しくなりますのでよろしく応援ください。



写真 応援の八王子学園の中学生が勢ぞろい

8. 同好会報告（白板に掲示）

古典芸能鑑賞会 予約しますので、申し込みは早めに 池田ときえ

ゴルフ同好会 10月25日、11月15日のコンペの参加要請 持田律三

9. その他

「お帰りなさい！Dr. 肥沼」イベントのご案内

岩島 寛

お手元にチラシを配布しました。プロバスクラブも協賛している「お帰りなさい！Dr. 肥沼」のイベントが10月14日の祝日に、西放射線ユーロードの会場で開催されます。「ドイツの味覚と文化を楽しむ一日」として、シニアダンディーズも出演しますので、どうぞ積極的にご参加ください。

10. プロバス賛歌斉唱

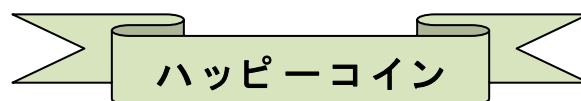
11. 閉 会

田中副会長

長時間お疲れ様でした。充実した例会でした。特に鈴木会員のブータンのお話はめったに聞けない内容で興味深く感じました。例会の持ち方も、新しいやり方を取り入れて少しずつ雰囲気に変化してきているように感じます。ご担当のご尽力に感謝です。

暑さはピークを過ぎましたが、夏の疲れが残っている時期ですので、体調にはくれぐれも気を付けられ、足元にも注意されて、来月も元気にお会いしましょう。

以上で例会を閉会します。



◆「プロバス古典芸能クラブ」で9月17日の文楽鑑賞会を楽しみにしています。 野口 浩平

◆9月12日は宇宙の日（92年スペースシャトル日本人初搭乗）。日本は暦を見ると1月～12月の間、数多い記念日がある。彼岸の時期にもち米と小豆を煮て作るぼたもちについて、「春の彼岸に作るのは、この時期牡丹の花が咲くのでぼたもち」といい、「秋の彼岸の頃は萩の花が見頃だからおはぎ」という説があり、これを御先祖様に供えた。

昔人はハッピー。

荻島 靖久

◆千葉県や神奈川県の一部での台風15号被害が大変でした。お見舞いの気持ちを込めてコインを。

杉山 友一

◆「宇宙の学校」第2学期は9月8日の八王子学園でスタート。台風の日でしたが何とか実施できました。無事でハッピー

下山 邦夫

◆宇宙の学校の第2回目が八王子学園で開かれました。今回は宇宙の学校の実習の中で最も難しいホバ

ークラフトの作製でした。中学生でだいじょうぶかと下山リーダーが心配し、プロバスのメンバーの出席確保をとるなどして体制をとりましたが、その心配はどこかへ消え去り、中学生が自作のものを精巧に作製するとともに、小学生には様子を見、声かけをし、完成への支援ができました。

小学生は笑顔で、保護者は「ありがとうございました」の声で帰路についたのです。 塚本 吉紀

◆八王子学園八王子高等学校が八王子エスフォルタアリーナにて行われた、東京都大会のマーチングコンテストで、見事に東京の第1位となり、東京代表として全国大会に参加します。応援をよろしく願います。 塚本 吉紀

◆8月15日台風10号の接近の中、諏訪湖の花火大会を見てきました。強い風の中、42,000発を30分早く切り上げるため、1時間半で打ち上げたため、内容のある見事なものでした！毎年見ているが、今年が最高でした。 持田 律三

◆股関節人工置換手術を終えて、今週退院出来ました。入院費の出費が痛い。 杉田 信夫

◆よく生きたものと感じます。84才になります。今のところ、頭と顔と口が悪いただけなので、まだしばらく生きられそうです。 岡部 治

◆ゴルファーの夢「エージシュート」を達成。9月4日(水)にGMGで開催されたJA主催の大会で81のスコアをマーク(南43・東38)。82歳8ヶ月目の快挙でした。 河合 和郎

◆この9月でバースデーカード10年目10枚目が終わります。長年のご協力ありがとうございました。むりを承知で次の10枚を目指しますのでどうぞよろしく。 池田 ときえ

◆虚弱児だった十代を思うと今月81才を迎えるのが夢のようです。よき仲間と巡り合えたことに感謝感謝です。 馬場 征彦

◆8月13日から25日まで2週間かけて、大垣、大津、比叡山、奈良、桜井、吉野山、高野山、堺と日本の歴史に触れる一人旅をしてきました。身は暑く心は涼しい充実した楽しい旅でした。 岩島 寛

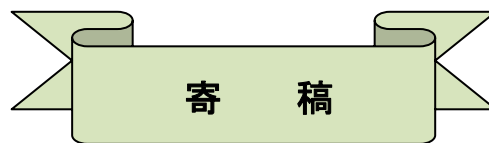
◆池田さん手作りのバースデーカード、今年もいただける。健康に感謝！ 吉田 信夫

◆例会前の「コーヒーでゆっくり歓談を」で先月は約30杯が飲まれました。その数だけ話の輪が広が

ってくれるとハッピーです。

一瀬 明

◆今朝は朝焼けがきれいでした。猛暑がようやく少しやわらぐのでしょうか。何とか暑い夏を乗り切れた事に感謝して。 田中 信昭



全日本プロバス協議会全国総会

(その歴史的経緯)

立川 富美代

第10回全日本プロバス協議会総会が八王子で開催されることになりました。9月の臨時総会で「八王子プロバスクラブのホスト就任」の議案が全会一致で承認されたからです。

全日本プロバス協議会は2年おきに総会を開催しています。北海道から九州まで111のプロバスクラブが設立されており、全国のクラブが順番に総会の開催地となることにより、全国のプロビアンが交流できる機会を作ることが目的です。

八王子が会場となる2022年は、協議会の発足から20周年に当たります。回を追うごとに参加者数が増え、北から南までの地域の交流が進んでおります。全国に111あるクラブは、その理念は同じですがクラブの規模や活動内容はそれぞれに違います。

それぞれのクラブが総会に集うことによって、相互理解を深め、学び合う事が何よりも大切なことだと思います。

私は昨年まで全日本協議会の副会長として、発足以来全ての総会に出席してきました。そして、参加するたびに八王子プロバスクラブの活動をPRすることに専念してきました。八王子クラブの周年記念誌や学習サロンの報告書、プロバスだよりなどを持参し、総会当日の受付テーブルに置きました。八王子の資料はすぐに無くなり、多くの方からの要望には応えきれませんでした。

さらに、八王子で開催された関東ブロック交流会や東日本交流会などの報告書も、毎回全国のクラブに送りました。そうした努力の結果、八王子のクラブ部活動が全国のリーディングクラブとしての評価を高めたものと確信しています。こうした活動を支えて頂いた会員の皆様のご尽力に改めて敬意を表します。

2022 年の第 10 回大会が大成功裡に終わりますよう心から期待いたします。

〔全国総会の歴史〕

第 1 回（2004）設立総会・大阪（故中村会長）

会場で八王子学習サロンのビデオを放映（八王子クラブ第 8 代会長立川富美代が副会長に就任。）

第 2 回（2006）兵庫尼崎（故中村会長）

第 3 回（2008）京都（金森会長）

葵祭の見学、夜の名寺拝観、芸者衆のおどり

第 4 回（2010）北海道旭川（金森会長）

行政の多大なサポート・旭川の観光（八王子から 10 数名参加）

第 5 回（2012）兵庫神戸（金森会長）

神戸、鳴門、淡路観光（10 数名参加）

第 6 回（2014）神奈川横濱（中村会長）

中華街見学と中華料理（20 数名参加）

第 7 回（2016）北九州小倉（中村会長）

下関、山口観光（13 名参加）

第 8 回（2018）三重四日市（中村会長）

伊勢音頭などお国ぶりを観覧（2 名参加）

第 9 回（2020 年 8 月 8 日開催予定）青森五所川原（古賀会長）

たちねぶた見学、青森半島めぐり（日野プロバスの 9 名を含めて 25 名参加予定）

人間動物園

杉田 信夫

私は 7 年前より変形股関節症という病名にて左足をひきずって歩いておりましたが「人工股関節に置き換えた方が楽だよ。」「20 年以上は取り換える必要はないよ。」等、すでに人工股関節に入れ換わった諸先輩方の話を聴き、令和元年 8 月仕事もひと段落した処でやっと決断をし、手術することにしました。

手術は全身麻酔で行われた為、痛みもなく 2～3 時間程度で終わりすぐに病室へ帰ってきたものの家族と会話をしながらその日はまた眠ってしまいました。今の病院は手術翌日より軽いリハビリを行い、一週間でリハビリ病棟へ移動となりました。

リハビリ病棟の一日は朝 6 時起床。時々採血や医師の診断がありました。8 時・12 時・18 時すべての食事は食堂にて食事。部屋で一人で食べるのとは違い、同じ病室の人々と同じテーブルで食事をとることは談話も多く楽しかったです。

また病気ではないので一般食でカロリーや好き嫌いは多少加味されました。午前と午後に各一時間リハビリトレーニングを行いました。夜 9 時消灯、部屋の照明は消されました。

楽しみはテレビと食事と読書、美人の代理リハビリトレーナーと施術したこと。（担当は男性だったが 3 日間代わりに美人トレーナーが付いたからです。）私はテレビを見るのが大好きなのですが、病院のテレビは一分一円で、千円のテレビカードを購入しイヤホンで聞かなければならなかったのが少し面倒でした。

読書は推理小説で、東野圭吾を 5 冊、佐野洋を 4 冊読破しました。表題の「人間動物園」とは入院中の暇なときに感じた事を表題にしました。

リハビリ病棟とはまるで人間動物園のようである。外から覗いてみたら飼育員（看護師）により一定時間に食事を運ばれ、リハビリの時は調教師（リハビリトレーナー）により歩行指導を受け、自由時間は病棟内をウロウロ歩き回ったりベッドに寝そべったりしていました。

また、リハビリ室は広く脳卒中による麻痺の人、義手義足によるリハビリ、整形外科のリハビリの人と、多勢の人が入り込んでいますが、そのグループ毎に仲間意識があるのか、すれ違いざまに目や手先でコンタクトを取り合っていました。私も短期間ながら同じ釜の飯を食った者同士の連帯感・仲間意識を感じたものです。

そして、私のいたグループでは、長い入院生活を送っていた女性がボス的な存在になっており、新参者の病名を聞いたり、病室でのルール説明等自発的に行っていました。まるでボス猿か牢名主のようでした。

そんな病院内のやり取りをマジックミラーか天井からのぞき窓で観ていたら、まさに人間動物園に見えるのではないかと。私はそう感じました。

十一面観音像との再会

内山 雅之

おそらく 20 年以上前になります。滋賀県湖北地方の十一面観音菩薩像を拝観して歩きました。このとき、向源寺、充滿寺、石道寺、鶏足寺などの十一面観音菩薩に初めて接しました。いずれの寺も、廃寺になってしまったのですが、村の人々の深い信仰

心に支えられ、現在でも私たちが拝観できる状態になっております。大変有難いことです。

石道寺と鶏足寺の十一面観音菩薩像を初めて拝観したときは、このような仏像が廃棄されることもなくよく残されていたな、素晴らしい仏像だと感じました。今回の旅では石道寺と鶏足寺の二カ所を拝観しましたが、20年前とほとんど変わらない状態で保存されており、管理されている村の方々の努力に頭が下がりました。製作年代や彩色状態などにも関心をもち、ゆっくりと鑑賞できたひとときでした。

石道寺の十一面観音菩薩像は、檜の一木造、彩色、高さ173.2cm、藤原時代の作で、口もとに朱が残り、肉身部や衣文にも当初の彩色が残っているなど大変美しい像でした。



また、鶏足寺の十一面観音菩薩像は、檜の一木造、彩色、高さ172.1

cm、藤原時代の作、表情はかたい感じがすが頬はふっくらと豊か。この像もまた彩色ですが、退色していて当時の彩色を想像することはできませんが、翻波式の衣文は美しいです。



この二カ所の十一面観音菩薩像について

は、井上靖の「星と祭」には次のように表現されております。ご参考までに。

「この十一面観音様は、村の娘さんの姿をお借りになって、ここに現われていらっしゃるのではない。素朴で、優しく、惚れ惚れするような魅力をお持ちになっていらっしゃる。野の匂いがぷんぷんする。笑いをふくんでいるように見える口もとから、しもぶくれの頬のあたりへかけては、殊に美しい。・・・」(石道寺十一面観音の感想です。)

「架山は十一面観音像の前に立った。そして高い仏面を戴いたその面を仰いだ瞬間、いつか大三浦といっしょに見た石道寺の十一面観音に似ていると思った。これもどことなくこの地方の人の面輪を持っている感じで、素朴で、美しかった。石道寺の観音さまのモデルを村の娘とするなら、この方は村の内儀さんということになる。・・・」(鶏足寺十一面観音の感想です。)

井上靖さんは自著「星と祭」の中で、以上のように表現されております。仏像の見方はいろいろあり、見方の定義があるわけではありませので、拝観された方の受け取り方は様々であると思います。

皆さん方は、この観音様を拝観したらどのように感じになりますでしょうか。

井上靖の「星と祭」の紹介

皎々たる満月の光が、琵琶湖の面に照り渡っていた。架山は、船の上で目を閉じた。

湖の北から東へかけて、何体かの十一面観音が湖を取り巻くように立ち並んでいた。

——娘よ、今夜から、君は本当の死者になれ、鬼籍にはいれ、静かに眠れ。

愛する娘を湖の遭難で失った会社社長架山は、その悲しみをいやすべくヒマラヤで月を観、娘とともに死んだ青年の父親に誘われて、琵琶湖周辺の古寺を巡った。

そして、今、湖上の月光を身に浴びながら、彼の胸に、ようやく一つの想いが定まろうとしていた。・・・

死者と生者のかかわりを通して、人間の＜死＞を深く観照した、文学の香り高い名作。

～「星と祭」帯書きより～

明かり今昔

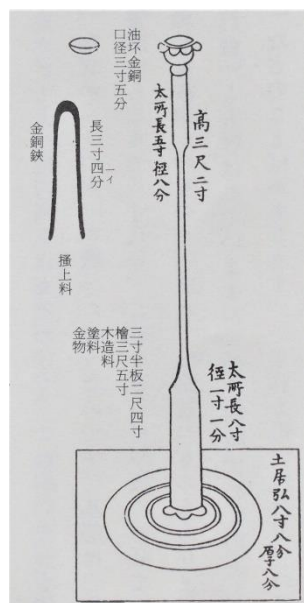
永井 昌平

現在は、電気のおかげで夜でも快適な生活ができる。しかし、停電になると昼でもまともな生活ができない。日本の電灯事業は1882年(明治15年)頃に始まっているから、およそ137年間の長きにわたって電気の恩恵にあずかってきた。電気が止まると混乱するのも無理はない

電気がなかったころの人は、どんな明かりを使っていたのであろう。屋内の明かりが劇的に変化した

のは、仏教伝来以降、植物油が灯火に使用されるようになってからである。その代表的なものが、王朝時代の宮廷や貴人の邸宅で用いられた灯台である。

灯台といっても、海上を航行する船を導くものではない。土器で作られた火皿に灯油を満たし、これに灯心を浸したものを、竿を付した台架に載せたのが灯台である。「類聚雑要抄」によれば高さ三尺二寸（約 97 センチ）であるが、灯心に火をつけているだけなので極めて暗い（図参照）。また三尺二寸の高さ



では、30 センチほどの高さの文机には高すぎるので、半分程度の高さの切灯台があった。

枕草子には、「短くてありぬべきもの、とみにもの縫う糸。下衆女の髪。人のむすめの声。灯台。」とあり短い灯台は便利なもののようにであった。「源氏物語」でもこの灯台が明かりの主役の一つになっている。植物油を使った灯台は、時代によって形を変えながら、江戸時代の行灯まで続

いていく。その後、明るさを求めてランプ、ガス灯を経て電気が主流になっていく。

八王子電灯が認可されたのは1894年10月である。八王子は織物で繁栄し、横浜輸出生糸の集荷起点でもあった。このため、早い時期に電灯会社が設立した。浅川に発電機を設置し、1896年には八王子町の208戸に687灯を点灯している。ただ、翌年の大火で多くの電柱を焼失したこと、加えて浅川は渇水期の水力が不足するため、電気の供給が十分でなく業績不振に陥った。そのため、元横山に火力発電所を建設した。しかし、赤字体質を克服することはできず、結局、東京電灯に買収された。

現在は、十分な電気の供給があり快適な生活をしているが、今後はさらに電気量が必要になってくると思われる。いろいろな電気の生産方法を生み出すことも必要であるが、節電も必要である。

また、明るさを求めるのではなく、灯台ほどではなくても、多少暗くても楽しい生活を考えることも必要ではないか。

俳句同好会便り

私の一句〈九月の句会から〉

河合和郎

地球の温暖化。世界中に気象変動が起きている。この夏も日本では長雨や台風により大きな被害が多発した。何とかしなくては。このままでは地球は住めなくなってしまう。そんな一日の句会から。

せせらぎに芭蕉の句碑や閑古鳥 田中 信昭

芭蕉の「うき我をさびしがらせよかんこどり」を下敷きにした一句。そんな挑戦が素晴らしい。

月下美人ゆらゆらゆらと香り立つ 飯田富美子

月下美人は一夜花。闇の中で真っ白に匂い立つ姿は正に花の女王。揺らぎつつ、香りつつが詠めた。

公園に動く影なし蟬時雨 馬場 征彦

草木さえ死んだように動かない酷暑の午後。公園には人影一つない。蟬時雨の季語の斡旋がいい。

燕去り巢あとに残る和毛かな 野口 浩平

ちょっと淋しさが漂う一句。和毛は雛鳥の残した置土産か。身近にある材料を上手に生かしている。

白く青く行合の空雲遊ぶ 東山 榮

季節の変わり目を「行合の空」というきれいな季語で表現。季節の変化とともに作者も新境地を。

蛸の声が急かせる日暮径 矢島 一雄

秋の陽は釣瓶落とし。蛸の声が追い打ちをかける。のんびりしてはいられない。さり気ない日常を。

長き夜や未だ夏風邪癒へもせず 池田ときえ

夏風邪がなかなか抜けない。気温の乱高下に対応する体が悲鳴を上げている。一日も早いご本復を。

癌の奴めと無念の句友秋彼岸 河合 和郎

大先輩であり句友の渋谷さんが亡くなって早や四カ月。壮絶な闘病の句の数々が頭から離れない。

編集後記：

久しぶりにプロバスだよりの編集を行った。パソコンを換えたばかりで、使い方に苦労したが、何とか終わらせることができた。

やっと蒸し暑さも解消されてきた。今年も残り少ないが、楽しくやっていきたい。永井昌平